

# 観光分野

地域課題名	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 新たな課題に対応するための観光事業者の人材の確保</li><li>2. データに基づいた戦略策定、マーケティング支援</li><li>3. データ分析に基づく観光施策検討</li><li>4. 新たな観光資源の発掘</li><li>5. 伊勢の文化・自然などの情報提供</li><li>6. 災害時の情報提供</li><li>7. バリアフリー観光推進（周遊促進・滞在延伸・市内宿泊促進）</li></ol>
地域課題の具体的な内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 自社製品・サービスおよび市の地域産品・魅力の情報発信、新事業・新サービスの創出を解決するための人材やスキルが不足している。魅力的な情報発信、新規顧客やリピーターの獲得を図りたい。また観光事業を引き継ぐ後継者不足が問題。</li><li>2. 観光客の状況や社会の変化により、観光客の欲しい商品・サービスが変化するが上手く対応できていない（適性価格把握、変化に合わせた商品・サービス改善など）。</li><li>3. 観光客にまつわる様々なデータを収集・分析することで、なぜ当地を訪れたのか、何を改善する必要があるのか検討していく必要がある。データ取得と分析・活用する仕組み（人材含む）が確立できていない。</li><li>4. 新たな観光資源の発掘・発見を進め、新規観光客やリピーターを獲得する。</li><li>5. 従来の掲示板や看板では情報量に限界があり、より深く知りたい日本人観光客や外国人観光客への情報提供を増やすと、表示される文字量が増えてしまい、視認性の低下や、風情、情緒の低下が懸念される。</li><li>6. 多様な観光客（年齢・国籍別、障がい者、妊婦等）に適応した、災害情報・避難情報・支援情報を提供できる仕組みを充実させ、観光客の安全確保や減災を進めたい。</li><li>7. チェアウォーカー等の観光客向け施設情報を発掘・整理した上で周遊を促す魅力的な発信をスマホ等で簡易かつ迅速に紹介できる仕組みが必要。</li></ol>